

2023 ~ 2024 年度国際ロータリーのテーマ



世界に希望を生み出そう

世界に希望を生み出そう

●会長 中島 祐爾

●幹事 緒方 公一

 No.1856 令和 06 年 04 月 03 日 第 33 回例会

※例会日 毎週水曜日 12:30~

※例会場 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内

※事務所 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内 TEL 354-4521 FAX 354-4053

 ※ URL <https://www.serc2720.org> ※ email serc@serc2720.org


■点鐘

■国歌斉唱「君が代」

■ロータリーソング「四つのテスト」

(ソングリーダー 古田哲朗)

■熊本東南ロータリークラブソング「Joyful And Good」

■4月誕生祝い(会長 中島祐爾)

 お誕生日
おめでとうございます

4月誕生祝

【会員】

村瀬 直久 様	4月28日
杉本 登哉 様	4月15日
片岡 貞志 様	4月4日

【配偶者】

潮谷義子 様	4月5日
--------	------



■会長の時間(会長 中島祐爾)

イエスと言ってもらえる質問をする

ロータリークラブは「はい」か「イエス」しかない。とよく冗談交じりなことを言ったりします。これはロータリーの標語でもなんでもありません。ご注意ください。

人と話をする時、意見の異なる問題を最初に取り上げてはいけません。まず意見の一致している問題から話始め、それを絶えず強調しながら話を進める。互いに同一の目的に向かって努力しているのだということ、相手に理解させるようにします。

最初は相手に「イエス」と言わせる問題ばかりを取り上げ、できるだけ「ノー」といわせないようにする。

相手に一旦「ノー」と言わせると、それを引っ込めさせるのは、なかなか容易なことではない。「ノー」といった以上、それをひるがえすのは、自尊心が許さない。「ノー」と言ってしまっ、後悔する場合もあるかもしれないが、言い出した以上、あくまでもそれに固執してします。だから、はじめから「イエス」と言わせる方向にもっていくことが、非常に大切である。

話し上手な人は、まず相手に何度も「イエス」と言わせておく。すると、相手の心理は肯定的な方向へ動き始める。「イエス」と多く言わせれば言わせるほど、相手をこちらの思うところへ引っ張っていくことが容易になる。

ある銀行員の話。

新規口座開設のためにお客様が来店されました。口座開設用紙に記入のため、大抵の質問には答えてくれましたが、質問によってはどうしても答えてくれません。

通常であれば、銀行の規則を盾にとって、「質問に答えてもらわないと口座開設はできません。」と答えるところですが、そういった態度は、わざわざ足を運んでくれた客に悪い印象を与えてしまう。行員は常識になかった態度をとろう決め、行員の希望でなく、お客様の希望について話をしました。そして最初から「イエス」と言わせるようにやってみようと思いました。

以下行員はこう言い添えました。「仮に預金されたまま、あなたに万一のことがございましたら、どうなさいますか。法的にあなたに一番近い親族の方が受け取れるようにしたくありませんか」お客は「イエス」と答えた。行員はさらに「その場合、私どもが間違いなく、迅速に手続きができるように、あなたの近親者の名前をうかがっておくほうがよいとお思いになりませんか」と尋ねた。お客は「イエス」と答えた。

私たちのためだけでなく、お客である彼のための質問だとわかると、客の態度は一変しました。彼自身に関して一切のことを話ただけでなく、行員の勧めに応じて、彼の母を受取人にして口座を設け、母に関する質問にも喜んで答えてくれたそうです。

行員が最初に銀行の規則に沿って「質問に答えてもらわないと口座開設はできません」ということを言わずに、言い方を変え「イエス」とだけしか言わせない方法とったおかげです。

古代ギリシアを代表するアテネの哲学者、ソクラテスは、相手の誤りを指摘するようなことは、決してやらなかった。いわゆる「ソクラテス式問答法」で相手が「イエス」と言わざるをえない質問をする。次の質問でもまた「イエス」と言わせ、次から次へと「イエス」を重ね言わせる。相手が気づいた時には、最初に否定していた問題に対して、いつの間にか「イエス」と答えてしまっている。相手の誤りを指摘したくなかったら、ソクラテスのことを思い出して、相手に「イエス」と言わせてみましょう。

■幹事報告 (幹事 緒方公一)

■来信案内

1)
 (公財) 米山梅吉記念館より、賛助会員・特別のお願い、春季例祭の案内、官報の送付。
 春季例祭 日時 令和6年4月27日(土) 式典開会 14時～
 場所 米山梅吉記念館ホール

■クラブより

1)
 本日例会後、定例理事会および40周年実行委員会を開催いたします。

■今後の地区行事

2024	4月7日(日)	地区研修・協議会	熊本県熊本市	熊本城ホール
		山田公也、彌富照皇、前田日出夫、福井学、片岡貞志、松岡泰光、村瀬直久、古田哲朗、堤勝也、杉本整哉、西田智史、武末直大、宮川義行		
2024	5月17日(金) ～ 18日(土)	地区大会	大分県日田市	パトリア日田・日田温泉小京都の宿みくまホテル
		福井学、古田哲朗、生駒ちあき、草村安宏、片岡貞志、松本繁、前田日出夫、村瀬直久、松岡泰光、松田和成、中島祐爾、小畑成司、緒方公一、杉本整哉、内田信行、山田公也		

■創立40周年記念事業

特定非営利活動法人 スペシャルオリンピックス日本・熊本へ目録の贈呈 (寄付30万円)



■30年間出席100%表彰

沼田敏雄 会員



■委員会報告 (次期幹事 福井学)

4月7日(日) 地区研修・協議会
 ご出席のお願い



■委員会報告

(ロータリー財団委員 彌富照皇)



(1) グローバル補助金 (GG2459440) では2720地区からDDF (2257ドル) を提供したため、4月25日に板橋南区ロータリークラブは3253地区との連携で台北にて、膳所ガバナーとの懇親会を計画されています。

(2) 板橋南区ロータリークラブは6月15日に、グローバル補助金活動に参加するために訪台される玉名ロータリークラブとの交流会を計画されています。

■出席報告

(出席・プログラム担当 生駒ちあき)

月日	会員数	出席者数	MU	修正出席者数	出席率 (%)
03月20日				休会	
04月03日	43 (免4) 39	30 Zoom1			76.92

☆出席免除

04月03日
 住江正治 島村徹男 志賀重人 永野昭一



■スマイル

(親睦・スマイル担当 松元将潔)



◎沼田敏雄 5,000円
 昨日、福岡 うきは市にあります流川桜並木通りを歩いてきました。帰って万歩計を見たら10,000歩を超えてました。



◎宮川義行 5,000円
 今朝の大雨で桜が散っていきました。フロントガラスに飛んできた花吹雪をみながら思い出した言葉があります。
 「散る桜、残る桜も散る桜」
 死は人ごとと思っていたけど、いつかは自分も死ななければならぬ現実を桜に例えて教えた言葉です。心して生きて行きたいと思います。

■クラブフォーラム

(内田信行 実行委員長)

「40周年について」

熊本東南
ロータリークラブ
40周年
記念式典
プログラム

2024/04/12-13-14

Rotary Club of Kumamoto Southeast

40周年記念式典

日 時:2024年4月13日(土)
 場 所:シーガイア・コンベンションホール4階『天珠』
 参加クラブ:和歌山東南RC 台湾板橋南区RC 友好クラブ学友RC

プログラム

司会進行 SAA 片岡貞志
 点 鐘 会長 中島祐爾
 国歌斉唱・中華民国国歌斉唱

ロータリーソング(善性の輝き) ソングリーダー 吉田哲朗
 開会挨拶 会長エレクト前田日出夫
 参加クラブ紹介 会長 中島祐爾
 物故会員へ黙祷
 会長挨拶
 実行委員長挨拶・記念事業報告 40周年実行委員長 内田信行
 表 彰 チャーターメンバー 鈴木義典 沼田敏雄

記念品交換
 各クラブ会長挨拶 佐藤晴之 佐藤晴之
 和歌山東南RC会長 堀崎和之
 学友RC会長 本庄伸之

閉会挨拶 副会長 村瀬直久
 点 鐘 会長 中島祐爾

■点鐘

編集 松岡泰光

クラブと地区リソースネットワークの協力を通じた 医療改革プロジェクト

投稿日: 4月1, 2024 投稿者: Rotary Japan
寄稿者: パオロ・パシーニ (イタリア、第 2072 地区国際奉仕委員長)

ロータリープロジェクトの成功に必要なのは、善意だけではありません。それは、コミュニティの真のニーズを的確に突き止め、そこに焦点を絞ること、そして、持続的なインパクトをもたらす強固なパートナーシップを築くことです。そうしてこそ、クラブ、地区、プロジェクトにかかわる専門知識をもつ仲間との協力が最大限の力を発揮し、奉仕プロジェクトを単なる善意ではなく、変革的なものとすることができます。



私は、地区国際奉仕委員長として、このアプローチの力を目の当たりにしました。「RemotHeart プロジェクト」は、新型コロナウイルスのパンデミック中にロータリアンが協力して立ち上げた革新的なイニシアチブです。

2020年、新型コロナウイルスのパンデミックがイタリアのロマーニャ地方に深刻な打撃を与えた際、多くのクラブと地区は、新型コロナウイルスの患者を支援するプロジェクトに注力しました。それは良いことなのですが、病院が必要とする以上の物資が届けられる結果となりました。病院では、酸素濃度計、体温計などの物資があり余る一方、ほかのニーズが満たされていない状況でした。プロジェクトはあまり役に立っておらず、持続可能でもありませんでした。隠れた重要なニーズを満たすために何ができるかと、私たちは自問しました。

緊急性を感じたりミニ・ロータリークラブの仲間たちと私は、地区ガバナーのアドリアーノ・マエストリさんの後押しを受けて、ロマーニャ地方の17のロータリークラブとアルゼンチンの一つのロータリークラブをつなげました。また、医療専門家、政府職員、地域社会のリーダーを集めてタスクフォースを結成しました。

「当たり前」を超えて見る：隠れたニーズ

解決策は、必ずしもお金と物ではありません。プロジェクトは真のニーズに取り組み、持続可能な解決策をもたらすでしょうか。「RemotHeart プロジェクト」の場合、最初に新型コロナウイルス患者の支援に注力したのは称賛に値しますが、病院は未使用の医療物資であふれかえっており、もっと深いレベルで考える必要がありました。

重要な最初のステップとして、地域社会の調査を実施することにしました。公衆衛生当局、技師、医師、看護師、病院管理者、地元の人びと、そして当地区のリソースネットワークと相談した結果、隠れたニーズがあることがわかりました。それは、慢性疾患の患者、特にペースメーカーや除細動器など心臓のインプラント治療を受けた患者たちのニーズでした。外出禁止や新型コロナウイルス患者の優先のため、心疾患を抱えるこれらの患者への重要なモニタリングが後回しになっていたのです。私たちはこれに対処する必要がありました。

脆弱な患者の安全を守るには、リアルタイムの遠隔医療モニタリングが必要でした。このため、プロジェクトでは、地区リソースネットワークで医療知識を持つメンバーがメンターとなり、医療の質と継続性のための貴重な助言と知識を提供してくれました。地区リソースネットワークは特に重要な役割を果たしました。というのも、当地区のネットワークには複数のテクノロジー専門家が含まれており、その中にはウルビノ大学で人体解剖学と高度医療機器について教えるピエトロ・ゴッピ教授もいたからです。

また、パートナー団体として欠かせなかったのは、ロマーニャ地域保健機関です。この機関は、必要なITインフラを構築し、5種類の心臓インプラントブランド間のデータ通信を統一し、それらを遠隔モニタリングセンターに接続しました。これは複雑な作業でしたが、懸命な努力によって実現しました。

この努力は結果となって実を結びました。「RemotHeart プロジェクト」によって300人以上の患者をリアルタイムでモニタリングし、パンデミック中に患者の健康を守ることができました。医師17人、看護師23人が協力したほか、効率的な健康モニタリングのための新しいソフトウェアと使いやすいダッシュボードも開発しました。ロータリー財団グローバル補助金89,000米ドルの支援を受け、人びとの命を救ったこのプロジェクトは、ロータリアンの協力が生み出す力を証明しています。

このプロジェクトは今日も続いており、恩恵を受けている患者の数は増え続けています。私が所属するクラブの会員も、患者の一人です。彼は最近の例会で、このプロジェクトによって自分がいかに助けられているかを語りました。心臓にインプラントされたデバイスを専門センターの医師がリアルタイムでモニタリングしているので安心できるそうです。

経験で得た学び

「RemotHeart プロジェクト」は、困難に直面した時にロータリー会員の協力がもたらす変革的な力を示しています。即席の対応ではなく、真のニーズを優先させ、強固なパートナーシップを培い、地区リソースネットワークを通じて仲間の知識を活かしたことが、パンデミック中に人びとの命を守っただけでなく、将来の医療の持続可能なモデルにつながりました。

皆さんも、地域の課題に取り組むために地区内のほかのクラブや会員とつながり、協力することをお勧めします。

- 地区リソースネットワークを通じて、地区内の会員や人びとが持つ豊富な専門知識を活用しましょう。大きなインパクトをもたらすプロジェクトをクラブが立案するのに役立つ貴重な情報や知識をもつ人が、地区内にきっといるでしょう。
- 地区国際奉仕委員長と連絡を取りましょう。地区国際奉仕委員長またはほかの地区リーダーが、地区リソースネットワークを管理し、必要な専門知識を持つメンバーをクラブに紹介できます。
- ネットワークのメンバーになりましょう。地区リソースネットワークにボランティアとして参加し、自分の専門スキルや知識を活かしてほかのクラブの力になることができます。
- 地区にまだリソースネットワークがない場合、地区リソースネッ

トワークを構築することを地区ガバナーと地区国際奉仕委員長に提案してみましょう。

「結果をもたらすプロジェクトの立案 (Planning Projects – Design for Results)」ウェビナーの録画をご覧ください (日本語の自動翻訳字幕付きでご覧いただけます)。私もパネリストの一人としてもこのウェビナーに参加し、「Remotheart プロジェクト」について説明したほか、地区リソースネットワークの効果的な活用法をご紹介します。

「Remotheart プロジェクト」の事例が参考になったことを願っています。協力の精神で活動し、世界の差し迫った課題を草の根レベルで一つずつ解決していきましょう。協力すれば、善意を超えて変革的になることができます。

ロータリーボイスより

動画コンテストでロータリーを広く紹介

投稿日：6月22, 2023 投稿者：Rotary Japan

寄稿者：ニジャド K. アル・アタッシ (第21Bゾーン2020-23年度ロータリー公共イメージコーディネーター)

ロータリー公共イメージコーディネーター (RPIC) となった初年度、私はロータリーが世界で生み出している変化について人びとに伝えるための動画コンテストを開くことを夢見ていました。ロータリーの活動を映し出したインスピレーションあふれる動画をクラブや地区で制作し、地元の町で、またソーシャルメディアやその他のメディアで紹介すれば、多くの人にロータリーとその活動の素晴らしさを知ってもらえると思ったからです。そのような映像を通じて人びとの心にロータリーを深く印象づけることができると考えました。



動画コンテストのアイデアを第21BゾーンのRPIC補佐たちに伝えたところ、皆が乗り気になってくれました。応募条件とコンテストの名称 (「Power of Goodness」) を決め、チラシを作成し、地区ガバナー、クラブ会長と幹事、地区とクラブの公共イメージ委員長に応募要項を送って参加を呼びかけました。

成功のカギはコミュニケーションにあると私は常に考えています。私のゾーンの公共イメージ担当チームもこの3年間、このコンテストについて地区とクラブの公共イメージ担当者たちに定期的に連絡を送り、ロータリーへの認識向上の重要性を絶えず強調してきました。コンテストへの参加を奨励するため、毎月Eメールやチラシ、推進動画を送っています。

1年目には58作品の応募がありました。2021-22年度には、第21Aゾーンの公共イメージコーディネーターであるミコラ・ステビヤンコさんにも参加を呼びかけ、55作品の応募がありました。昨年には、ウクライナでの戦争、ギリシャとトルコでの森林火災、トルコでの大地震があったため応募は少なめでしたが、それでも

第21Aと第21Bゾーンの16地区中10地区から、32のロータリークラブとローターアクトクラブが作品を寄せてくれました。

コンテストでは、100点満点で以下の基準に基づいて作品が採点されます。

- 創造性、地域社会へのインパクトの大きさ (30点)：ロータリーの活動が世界にもたらしている好ましい変化、世界に対するロータリーの思いやりの心が動画で示されているか
- メッセージの内容 (40点)：コンテストのテーマ (The Power of Goodness [善の力]) が動画に反映されているか、ロータリーの使命・ビジョンと関連しているか、動画の構成に整合性と説得力があるか
- 技術面 (20点)：ロータリーのブランドガイドライン (ロゴやその他の要素) に沿っているか、編集・タイミング・カメラ操作・音質はどうか、3分の時間制限を守っているか
- 人気「いいね！」の数 (最高10点)：各ゾーンからの最終候補10作品をウェブサイト、YouTube、Shutterflyと第21ゾーンフェイスブックページに投稿し、「いいね！」の数で順位づけ

最終的に選ばれた3作品の応募者には、賞金と表彰楯が贈られます。また応募したすべてのクラブと地区には感謝状が贈られます。応募された作品は、コンテストのウェブサイトからご覧いただけます。

ゾーンのロータリー公共イメージチームの努力のおかげで、第21ゾーンのロータリアンから好評だったほか、地元の人たちからも大きな反響があり、当初の目的が果たされています。ロータリー外の人びとから寄せられた賛辞は、超我の奉仕に献身するロータリー会員たちに喜びを与えています。ロータリーについて学んだことで、ロータリーへの支援や入会を考えはじめた人もいます。私の後任者である現RPIC補佐/パストガバナーのアトラン・アースランさんも、このコンテストを次年度も継続する予定です。

ほかの地区やゾーンも、クラブと協力してこのようなコンテストを実施してみることをぜひお勧めします。このような取り組みを通じて、会員に誇りを与え、ブランドリソースセンターの利用を促し、何よりも、ロータリーの活動に対する人びとの認識を大きく高められるでしょう。

(※編集者中：第21Bゾーンには、アフガニスタン、アルバニア、アルメニア、アゼルバイジャン、バーレーン、ブルガリア、キプロス、ジョージア、ギリシャ、イラク、ヨルダン、カザフスタン、コソボ、キルギスタン、レバノン、モンテネグロ、北マケドニア、パレスチナ、セルビア、スロベニア、スーダン、タジキスタン、トルコ、アラブ首長国連邦が含まれています。)

ロータリーボイスより